

CONGO

SMALL OFFICE,
HOME OFFICE ACCESS



簡単インストールガイド

端末型ダイヤルアップ接続サービス

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ず守ってください。これらの事項が守られていない場合、感電、怪我、火災、故障などの原因になります。



カバーを外さないでください。

絶対にカバーを外さないでください。お客様に必要な部品は内包されていません。



取り扱いは丁寧に

落としたり、ぶついたり、強いショックを与えたりしないでください。



稲妻危険

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。



動作温度

本製品は、5 ~ 40 の範囲でご使用下さい。特に、本製品をラックなどに組み込んでご使用になる場合、換気には十分ご注意ください。



電源アダプタはAC100Vに接続してください。

本製品は、AC100Vで動作します。AC100V以外の電圧の電源に接続しないでください。



異物を入れないでください。

換気口、拡張スロットなどから金属、液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。

テーブルタップをご使用になる場合、たこ足配線をしないでください。たこ足配線は、火災の原因になります。



設置、ケーブル配線、移動は電源を抜いて

本製品の設置、ケーブル配線、移動などを行う場合は、必ず電源アダプタを抜いて行ってください。



専用の電源アダプタを使ってください。

本製品に電源を供給する際には、本製品に付属している専用の電源アダプタをご使用ください。ACアダプタのコードは無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、圧力がかかりコードがつぶれてしまうような箇所にコードを敷設しないでください。



次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所 (静電気障害の原因にもなります)
- ・腐食性ガスの発生する場所



通気口をふさがないでください。

本製品の通気口をふさがないでください。通気口をふさいだ状態で本製品を使用すると、加熱などにより故障、火災の恐れがあります。



日常のお手入れ

本製品の汚れは、やわらかい乾いた布でふいでください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。製品の変形、変色の原因になります。

このマニュアルについて

このマニュアルは、端末型ダイヤルアップ接続サービスでインターネット・プロバイダに接続するための手順を例にして、Web Wizardの使用方法を説明したものです。すぐにもインターネット・プロバイダと接続してみたいという方はぜひお読みください。いろいろな設定例や、詳しい説明は、取り扱い説明書や User Guide Manual をご覧ください。

ヒント・注意・警告

それぞれ、次に示すような特有の意味と書式があります。

ヒント 補足情報または背景情報です。また、実行したいことを容易にしたり迅速にするためのヒントになります。

注意 ヒントよりも重大な、システム運用に必須の情報です。注意を無視するとシステムの障害またはそれと同等の損害が生じることがあります。

警告 警告は、最も重大度が高い情報です。警告を無視すると身体への障害を引き起こすが重大な法的義務に違反することがあります。

マニュアルバージョン

1996年9月10日	Ver. 1.0 pl. 0	初版 (controled release)
1996年9月18日	Ver. 1.0 pl. 1	版形変更
1997年4月12日	Ver. 2.0 pl. 0	Web Wizard で新規作成
1997年5月14日	Ver. 2.0 pl. 1	誤植訂正と著作権記述修正

目次

1	概要	7
1.1	端末型ダイアルアップ接続サービス	7
1.2	CONGOを使用したネットワーク構成	9
	IP ネゴシエーションプロトコル	9
	NAF (Network Address Folding)	9
1.3	LAN 構築のプラン	10
	新規に LAN を構築する場合	10
	既に運用している LAN がある場合	10
1.4	設定の準備	11
2	設置・配線・起動	12
3	CONGO の設定	14
3.1	Web Wizard をインストールする	14
3.2	Web Wizard を使う	16
	基本的な設定項目 (General Configuration)	17
	インターネット・プロバイダに関する設定項目	20
	その他のボタン	22
4	最初からやりなおす	23
4.1	コンソールターミナルの接続	23
4.2	CONGO を完全な工場出荷時の状態に戻す	25
4.3	Web Wizard の再実行	27



索引

記号

25P-9P 変換コネクタ 23

A

Activate Settings 22

Add a new destination 22

AT 互換機 23

C

CHAP 7, 21

CONGO の IP アドレス 19

D

DE 25

Delete 22

DNS サーバー 7, 18

E

ExpressACCess 26

G

Go to General Configuration 22

H

HTML 11

I

IP アドレス 10

IP ネゴシエーション 7, 9, 21

ISDN アダプタ 7, 9

ISDN の終端抵抗 12

J

JPNIC 10

L

LAN 10

LAN アダプタ 11

LAN 型ダイアルアップ接続 10

M

Mon x.y > 25

N

NAF 9

NAT 9

Netscape Navigator 11

Network Address Folding 9

Network Address Translator 9

NIC 10

NON 21

P

PAP 7, 21

PC-98 23

R

ROM モニタ 25

RS-232 12

S

Save Settings To Disk 22

STATUS ランプ 12

T

TCP/IP のプロパティ 12

U

Unnumbered IP インターフェース 9

URL 16

V

View Settings 22

View/Modify 22

W

Web Wizard 11

Windows 3.1 11

Windows95 11

イ

イーサネット 10

インターネットエクスプローラ 11

インターネット・プロバイダに関する設定項目 20

カ

回線速度 21

キ

基本的な設定項目 17

ク

グローバルアドレス 10

コ

工場出荷時の状態に戻す 25

個人ユーザー 7

コマンドプロンプト 26

コンソールターミナル 23

サ

サイト名 21

サブネットマスク 19

シ

自己診断テスト 26

タ

ターミナルアダプタ 7, 9

ターミネータ 12

ダウンロード 22

端末型ダイヤルアップ接続サービス 7, 9

テ

電話番号 7, 21

ニ

認証 21

ハ

ハイパーターミナル 23

パスワード 7, 21

パソコンのIPアドレス 19

フ

不揮発性メモリ 22

プライベートアドレス 10

ブリッジ 22

マ

マルチリンク 21

ヤ

やりなおす 23

ロ

ログイン名 7, 21



1 概要

このマニュアルは、端末型ダイヤルアップ接続サービスでインターネット・プロバイダに接続するための手順を例にして、Web Wizard の使用方法を説明したものです。

Web Wizard は、Netscape Navigator や Microsoft インターネットエクスプローラを CONGO の設定のためのインターフェースとして利用するユーティリティです。グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を利用して、必要な項目を入力したり、ボタンをクリックすることによって設定を行うことができます。

1.1 端末型ダイヤルアップ接続サービス

図 1.1a に端末型ダイヤルアップ接続サービスにおけるネットワーク構成を示します。このサービスでは 1 台の端末をインターネットに接続することができます。このサービスを使用するユーザーのほとんどは個人ユーザーであり、ターミナルアダプタ (TA) や ISDN アダプタカードをパソコンに取り付けることによって、パソコンを直接プロバイダに接続しています。

このサービスでは、ユーザーに対してプロバイダから次のようなパラメータが与えられます。この冊子では、以後具体的な数値として下記を仮定します。

ログイン名: 「LgnNam」
パスワード: 「Password」
電話番号: 「0312345678」
DNS サーバーの IP アドレス: 172.16.100.100

プロバイダから認証の方法を指定されなかった場合、PAP、CHAP のどちらでも使用可能であると考えられます。通常、安全性の高い CHAP を使用します。

通常、端末型ダイヤルアップ接続サービスでは、IP ネゴシエーションプロトコルが使用されるため、ユーザーに固定的な IP アドレスは与えられません。

DNS サーバーの IP アドレスが不明の場合は、ご契約のインターネット・プロバイダにお問い合わせください (DNS サーバーの IP アドレスを知るためには意思表示しなければならないことがあります)。

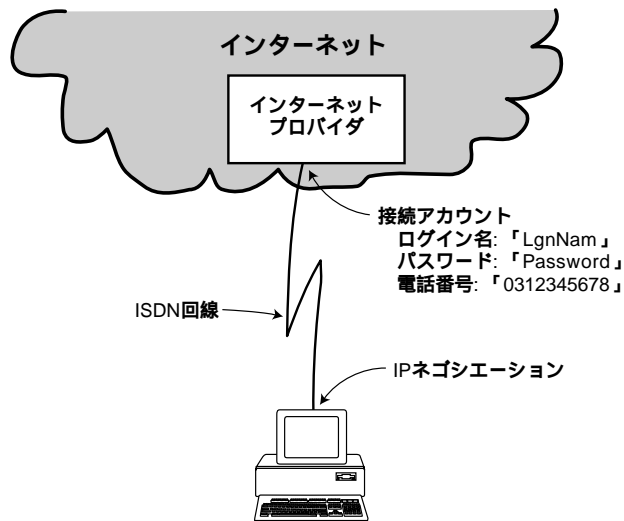


図 1.1a 端末型ダイアルアップ接続サービスにおける本来のネットワーク構成

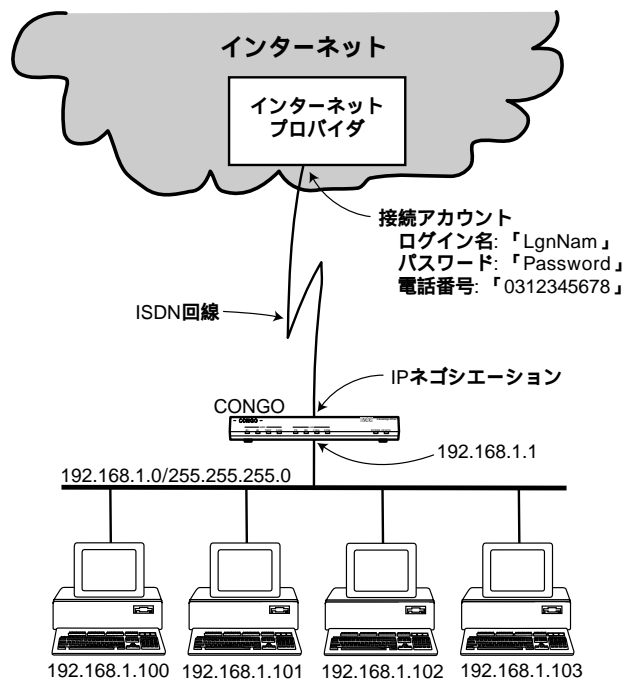


図 1.1b 端末型ダイアルアップ接続サービスでCONGOを使う

1.2 CONGO を使用したネットワーク構成

図 1.1b に、CONGO を使用して端末型ダイヤルアップ接続サービスでインターネット・プロバイダに接続するためのネットワーク構成を示します。CONGO を使用することによって、通常であれば 1 台しか接続できない端末を同時に 4 台まで、インターネットに接続することができます (端末を 5 台以上接続した場合、同時に 4 台まで使用できます)。

注意 端末型ダイヤルアップ接続サービスの契約を結んでいる場合、プロバイダによっては、「CONGO のような装置を使用して複数の端末を接続すること」は**サポート対象外となることがあります**。そのような場合は、お客様の責任において CONGO をご使用ください。

IP ネゴシエーションプロトコル

CONGO は IP ネゴシエーションプロトコルをサポートしています。IP ネゴシエーションプロトコルとは、プロバイダが管理している IP アドレスの中から、今接続しようとしているユーザーに、他のユーザーによって使用されていない IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルです。したがって、接続のたびごとにユーザーが使用する IP アドレスは異なり、ユーザーに固定的な IP アドレスは与えられません。

ヒント 端末型ダイヤルアップ接続サービスの本来の接続形態では、パソコンに ISDN アダプタを取り付けたり、ターミナルアダプタを使用し、パソコン (端末) を直接 WAN に接続します。IP ネゴシエーションプロトコルでは、WAN ポートに対して IP アドレスが割り当てられている点にご注意ください。

WAN ポートに割り当てられた IP アドレスをユーザーが知り得ないという点で、類似のものに「Unnumbered IP インターフェース」がありますが、「IP ネゴシエーションプロトコル」と「Unnumbered IP インターフェース」は別のもので、しかしながら、CONGO (Web Wizard の設定画面の中) ではこのふたつの類似性に着目し、同類として扱っています。

NAF (Network Address Folding)

NAF は、ローカルに存在する端末の IP アドレスと、ローカルの端末が通信を行っているリモートの端末の IP アドレスを対応づけて記録することによって、ローカルの複数の端末の IP アドレスをひとつの IP アドレスに変換し、インターネット・サービス・プロバイダからユーザーを見たときにあたかも 1 台の端末だけを使用しているように見せる技術です。

例えば、ローカルの A とリモートの W が通信をしており、通信の間にルーター L が介在しているとします。ルーターは、A から W へのパケットに含まれる A のアドレスを L に変換し W に送ります (このパケットに含まれる送信元アドレスは L に置き換えられているので、W は L からのパケットを受け取ったように錯覚します)。ルーターは A と W が通信を行っていることを記録しておきます。W から L へ返信パケットが帰ってきたら、記録をもとにしてパケットに含まれるアドレス L を A に変換し、A に送ります。このようにアドレスを変換して通信する機能を NAT (Network Address Translator) といひ、RFC1631 によって提唱されています。

CONGOは、NATを拡張したNAFを実装しており、ローカルで発生する変換のタスクを同時に4つまで処理することができます。

注意 ネットワークアプリケーションによっては、NAFを使用することによって、正常に動作しないものがあります。

1.3 LAN 構築のプラン

インターネット・サービス・プロバイダとの契約は端末型ダイアルアップ接続サービスであっても、CONGOを使用することによって接続形態はLAN型ダイアルアップ接続となります。LANを構築するためには、別途ハブやパソコンをLANに接続するためのLANアダプタ、ツイストペアケーブルが必要です。また、個々のパソコンにIPアドレスを付け、パソコンをTCP/IP通信ができるように設定します。

新規にLANを構築する場合

「端末型ダイアルアップ接続サービスによって、今までは1台の端末を使用していた」とか「端末型ダイアルアップ接続サービスの契約も、CONGOの導入も初めてで、全く新規にシステムを構築する」というような場合、CONGOのイーサネット (LAN) 側のIPアドレスは、**デフォルトの「192.168.1.1/255.255.255.0」**をご使用ください^{†1}。この場合、パソコンも同一のネットワークに属するIPアドレス、例えば「192.168.1.100/255.255.255.0」などを設定します。

既に運用しているLANがある場合

「既にTCP/IPによるLANが構築されており運用を開始している」場合は、既に使用しているネットワークアドレスを継続して使用することができます。この場合、お客さまの環境におけるCONGOのLAN側インターフェースにつけるIPアドレスを決定してください。

†1 プライベートアドレス

10.0.0.0 ~ 10.255.255.255 (クラスA)、172.16.0.0 ~ 172.31.255.255 (クラスB)、192.168.0.0 ~ 192.168.255.255 (クラスC)をプライベートアドレスといい、正式に取得しなくても自由に使えます。お客さまが正式に取得したアドレスを使用していないのなら、これらのアドレスを使うことをお勧めします。接続台数がそれ程多くないのであれば、クラスCを使用すればよいでしょう。例えば、192.168.1.0のネットワークアドレスであれば、「192.168.1.1 ~ 192.168.1.254」の254台のホスト (端末) を接続することができます。

グローバルアドレス

インターネット・サービス・プロバイダやNIC (JPNIC) から取得した正式なIPアドレスをグローバルアドレスと言います。

1.4 設定の準備

Web Wizard は、Netscape Navigator または Microsoft インターネットエクスプローラと CONGO の間の通信を取り持つプログラムと、HTML スクリプトによって構成されたパッケージです。Netscape Navigator や Microsoft インターネットエクスプローラから Web Wizard を見た場合、Web Wizard は CONGO にアクセスするための一種の Web サーバーとして動作します。

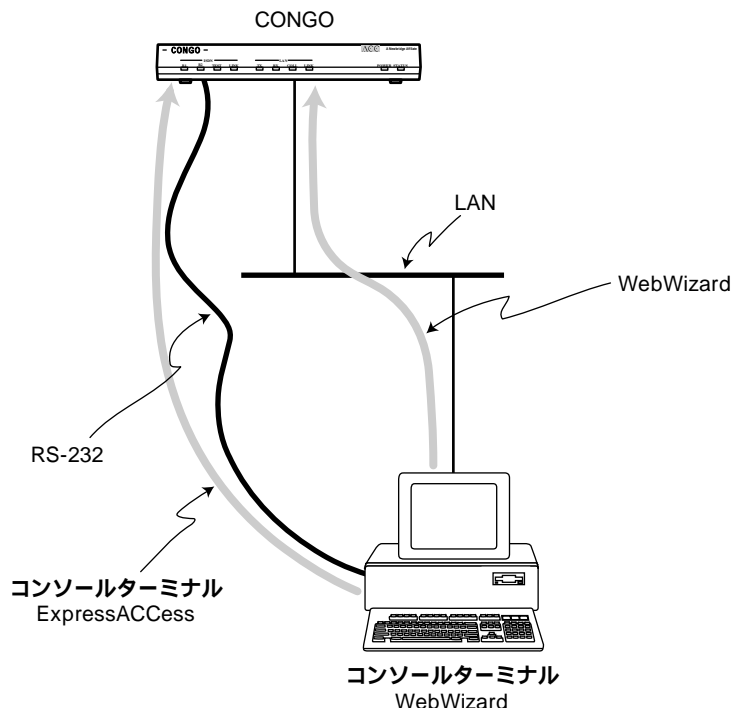


図 1.4a Web Wizard を使用して CONGO を設定するための構成

図 1.4a に Web Wizard を使用して、CONGO を設定するための構成を示します。Web Wizard を実行するパソコンは、あらかじめ「1.3 LAN 構築のプラン」にしたがって、以下のことを満たしておいてください。

- [1] Windows 95 のインストールが完了していること。
- [2] パソコンに LAN アダプタが取り付けられており、TCP/IP のネットワークが正しく動作していること パソコンの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスとして、「1.3 LAN 構築のプラン」で決定したものを使用してください。

パソコンのIPアドレスの設定は、スタート 設定 コントロールパネル ネットワーク TCP/IP TCP/IPのプロパティ IPアドレスまたはゲートウェイで設定します。

- [3] Windows 95に、Netscape NavigatorまたはMicrosoft インターネットエクスプローラがインストールされており、正しく動作していること。

Web Wizardを使うだけであれば、RS-232ケーブルを接続する必要はありませんが、ケーブルを接続しコンソールターミナルを使用できるようにしておくのが便利です。

2 設置・配線・起動

- (1) CONGOを適切な場所に設置してください。
- (2) 図2aにならって、電源アダプタ、LAN、WANの接続を行ってください。

注意 Web Wizardを使用するだけであれば、**コンソールケーブル**は接続する必要はありませんが、接続しておく方が後々便利です。

注意 CONGOは、工場出荷時においてISDNの終端抵抗(ターミネータ)を内蔵する設定になっています。ISDN回線に接続するとき、DSUに直接接続するか、終端抵抗を内蔵していないローゼットをご使用ください。

注意 CONGOのパッケージには、クロスツイストペアケーブルが同梱されています。CONGOとパソコンを直接接続する場合にご使用ください(図2b)。図2aのように、ハブを経由してパソコンを接続する場合は、別途ストレートのツイストペアケーブルをご用意ください。

注意 同梱されているISDNのケーブルとクロスツイストペアケーブルはよく似ているのでご注意ください。区別はケーブルの梱包に明記されています。

- (3) CONGOの電源スイッチをオン(I)にしてください。前面パネルのPOWER、STATUSランプが点灯します。STATUSランプの点灯状態は、CONGOが自己診断を実行していることを示しています。
- (4) 電源をオンにしてから約1分後、STATUSランプが点滅(1秒間に2回)を開始します。点滅状態は、CONGOが通常の動作状態になったことを示しています。Web Wizardの実行は、常にSTATUSランプが点滅している状態で行ってください。



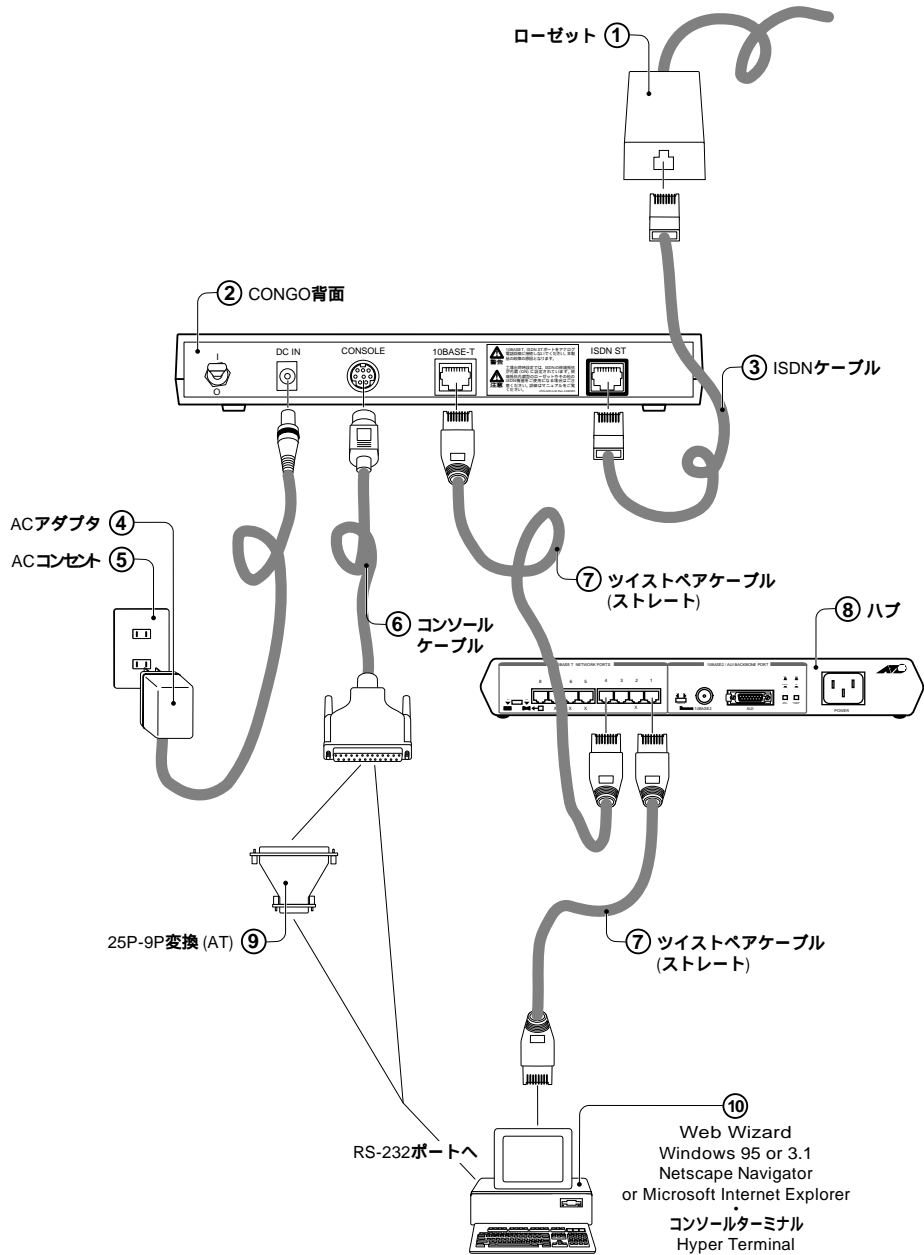


図 2a LAN の構成にハブを使用した例

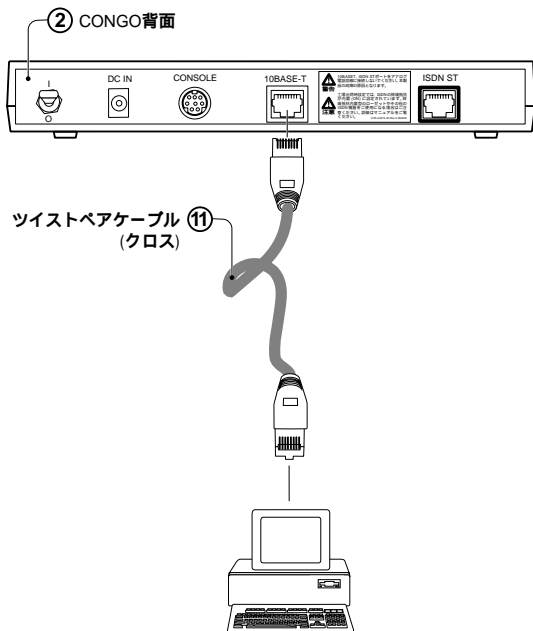


図 2b CONGO とパソコンを直接接続する例

3 CONGO の設定

3.1 Web Wizard をインストールする

- (1) Web Wizard ディスクをフロッピードライブに挿入してください。
- (2) Windows 95左下の「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行(R) ..」を選択してください。

図 3.1a



- (3) 「ファイル名を指定して実行」ダイアログが現れます。「A:¥setup」を入力し(AT 互換機)、「OK」ボタンをクリックしてください。

図 3.1b



- (4) Web Wizard Setupが開始されます。下記のダイアログで「Continue」をクリックしてください。

図 3.1c



- (5) Web Wizardのインストール先ディレクトリを指定します。デフォルトでは、「¥WIZARD」となります。「Install」をクリックすると先に進みます。

図 3.1d



- (6) 「Run Web Wizard」をクリックすると、インストールを終え、直ちにWeb Wizardが起動します。「Return to Windows」をクリックすると、インストールを終え、Windows 95/3.1に戻ります。

図 3.1e



注意 Web Wizardを使用するためには、CONGOが工場出荷時の状態でなければなりません。CONGOが工場出荷時の状態でない場合 (例えば、既にWeb Wizardなどを使用して設定を施している場合)、本冊子「4 最初からやりなおす」の手順を実行してください。

3.2 Web Wizard を使う

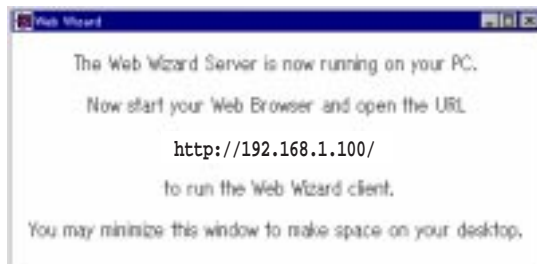
- (1) 「スタート」ボタン 「プログラム (P)」 「Web Wizard」 「Web Wizard」 とメニューをたどり、Web Wizard を起動してください。

図 3.2a



- (2) Web Wizard が実行されていることを示す次の画面が現れます。この画面に Web Wizard の URL が表示されます。実際には、URL (下記の例では「`http://192.168.1.100/`」) に含まれる IP アドレスは、お客さまがお使いのパソコンの IP アドレスとなります。

図 3.2b



- (3) Netscape Navigator または Microsoft インターネットエクスプローラを起動し、Web Wizard が表示した URL を入力してください。次の画面が現れます。ここでは、Navigator の場合を示します。「ソフトウェアの設定」をクリックしてください。接続の設定画面に進みます。



図 3.2c

基本的な設定項目 (General Configuration)

- (4) LANのネットワークアドレスとして「192.168.1.0/255.255.255.0」を使用する場合、図 3.2d のような画面が現れます。この場合、CONGO のイーサネットポートの IP アドレスはデフォルトの「192.168.1.1」となります。また、パソコンの IP アドレスは「192.168.1.100」であると仮定します¹⁾。次の 3 項目を入力したら、「CONTINUE」をクリックしてください。(6) に進みます。

LANのネットワークアドレスとして「192.168.1.0/255.255.255.0」以外を使用する場合、(5)に進んでください。

ISDN Switch Type/Service
「NTT (Japan)」を選択してください。

Number of Bearer Channels (B-channels)
「Two」を選択してください。日本では、Two、すなわち2B+Dだけがサポートされています。

DNS サーバーのIP アドレス
インターネット・プロバイダにお問い合わせください。ここでは「172.16.100.100」を仮定します。



図 3.2d ネットワークアドレスとして「192.168.1.0/255.255.255.0」を使用する場合

- (5) LANのネットワークアドレスとして「192.168.1.0/255.255.255.0」以外を使用する場合、図 3.2eのような画面が現れます。次の5項目を入力したら、「CONTINUE」をクリックしてください。

もし、「192.168.1.0」以外のネットワークアドレスを使用する場合は、ここでは以下であげた具体的なアドレスを使用すると仮定します。

ISDN Switch Type/Service
「NTT (Japan)」を選択してください。

Number of Bearer Channels (B-channels)
「Two」を選択してください。日本では、Two、すなわち2B+Dだけがサポートされています。

IP address of your PC
Web Wizard を実行しているパソコンの IP アドレスを入力してください。ここでは、「150.87.28.131」を仮定します。

IP address of your Congo
CONGO のイーサネットポートに割り当てる IP アドレスを入力してください。ここでは、「150.87.28.200」を仮定します。

Your subnet mask
CONGO (Web Wizard を実行しているパソコン) が接続されているネットワークのサブネットマスクを入力してください。ここでは、「255.255.255.0」を仮定します。



図 3.2e ネットワークアドレスとして「192.168.1.0/255.255.255.0」以外を使用する場合

インターネット・プロバイダに関する設定項目

(6) 「From your Network Administrator or Internet Service Provider」で次の情報を入力してください。

From your Network Administrator or Internet Service Provider

Destination Name
Destination-1

Destination's telephone number(s) for data calls
Primary 0312345678 64K 56K
Secondary 64K 56K

Authentication
Login LqmMan
Password ***** PAP CHAP NONE

Multilink (combine) B-channels

Network Type(s)
 TCP/IP (Internet)
ISDN Port's IP Address Type
 Dynamic (Numbered or Negotiated)
 Static (Numbered)
IP Address 192.168.1.1
Subnet Mask 255.255.255.0
Next Hop 192.168.1.1
 Bridge other Network protocols (ie. AppleTalk)

Activate Settings Download your new settings to your Congo (previously saved settings will be overwritten)

View Settings View the script created by Web Wizard

Save Settings To Disk Write the script created by Web Wizard to disk

View/Modify or Delete a configuration Destination-1 Edit an existing destination configuration

Add a new destination For access to multiple networks

Go to General Configuration Change ISDN settings or IP configuration

文書: 完了。

図 3.2f プロバイダに関する情報の入力

Destination Name

サイト名は、Web Wizardにおける識別のために使用される名称で、特に入力する必要はありません (CONGOの設定に影響をあたえません)。デフォルトでは「Destination-1」となります。

Destination's telephone number(s) for data calls

「Primary」にインターネット・サービス・プロバイダから与えられた電話番号を入力し、回線速度を選択します。電話番号は数字のみが入力できます。ハイフン「-」やスペースは入力しないでください。ここでは、「0312345678」、「64K」を仮定します。

「Secondary」は、もし「Primary」の回線が話中だった場合にかかる相手の電話番号を入力します。電話番号は数字のみが入力できます。ハイフン「-」やスペースは入力しないでください。ここでは、接続先は一か所だけとしてSecondaryには何も入力しません (入力欄が空白の場合、回線速度の選択は無視されます)。

Authentication (認証)

「Login」にインターネット・プロバイダから与えられたログイン名を入力してください。ログイン名は、半角英数字で入力し、全角文字は使用しないでください。ログイン名は大文字・小文字を区別します。ここでは「LgnNam」を仮定します。

「Password」にインターネット・プロバイダから与えられたパスワードを入力してください。パスワードは、半角英数字で入力し、全角文字は使用しないでください。パスワードは大文字・小文字を区別します。ここでは「Password」を仮定します。

「PAP」、「CHAP」から認証の方法を選択してください (認証を行わない「NON」は使用できません)。CHAPは、3つの認証の方法で最も高いセキュリティを持ち、パスワードを暗号化して相手に送ります。PAPは暗号化せずにそのまま送るため、ISDN回線上で傍受された場合、セキュリティが破られる可能性があります。通常は、CHAPを使用することをお勧めします。ここでは、CHAPを使用すると仮定します。

Multilink (combine) B-channels

インターネット・プロバイダがマルチリンク (2B) をサポートしている場合は、「」をクリックし「X」マークをつけてください。「X」をつけない場合は、マルチリンクは使用されません (1B)。CONGOでマルチリンクを使用するように設定しても、プロバイダがマルチリンクをサポートしていない場合は、1Bだけが使用されます。ここではマルチリンクを使用すると仮定します。

ヒント マルチリンクとは、ISDNの2本のBチャネルを束ね128Kbpsとして使う機能です。常に2Bが使用されるわけではなく、自動的にトラフィックが少ないときは1Bのみを使用し、多いときは2Bを使用します (オンデマンドによる帯域幅調節)。

TCP/IP (Internet)

端末型ダイヤルアップ接続サービスの場合は、「TCP/IP」の をクリックし「X」マークをつけ、更にラジオボタン () で「Dynamic」を選択してください。「Dynamic」を選択すると、WAN (ISDN) ポートでIPネゴシエーションが使用されます。

「Static」は、LAN型ダイヤルアップ接続サービスの契約を結んだとき、インターネット・サービス・プロバイダによってWANポートのIPアドレスを指定された場合 (Numbered IP インターフェース) に選択します。

Bridge

インターネット・プロバイダとの接続では、CONGOのブリッジの機能を使用しないでください。Bridge機能は、AppleTalk、IPX/SPXなどのIP以外のプロトコルを使用するための機能です。

- (7) Web Wizardの「Activate Settings」ボタンをクリックしてください。設定のダウンロードが成功すると、「Your settings have been successfully downloaded to your Congo !」が表示され、CONGOはダウンロードした設定を使ってレポートします。また、ダウンロードした設定は不揮発性メモリに保存されるため、次回の起動時でも有効です。
- (8) LANに接続されている他の器機 (設定に使用したパソコン以外の器機) の全てに対して、適切なIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス (CONGOのLAN側のIPアドレス) を設定してください。

その他のボタン

Activate Settings

Web Wizardに入力した設定をCONGOにダウンロードし、ダウンロードの設定でCONGOを再起動させます。設定は、不揮発性メモリにも保存されるため、ダウンロードの設定は次回の起動時でも有効です。

View Settings

Web Wizardに入力した設定をスクリプトに展開して表示します。

Save Settings To Disk

Web Wizardに入力した設定をスクリプトに展開してファイル名「config.scr」でディスクにセーブします。

Add a new destination

2か所以上の接続先を入力するときにクリックするボタンです。これをクリックすると、接続先の情報を入力するための新たな画面が表示されます。

Go to General Configuration

ひとつ前の画面に戻るボタンです。

View/Modify

接続先が複数存在するとき、表示されるボタンです。このボタンをクリックすると、このボタンの下にあるプルダウンメニューで選んだ接続先の設定画面を表示 / 設定変更することができます。



Delete

設定済みの接続先が1か所以上存在するとき、表示されるボタンです。このボタンをクリックすると、このボタンの下にあるプルダウンメニューで選んだ接続先の設定を削除します。

4 最初からやりなおす

設定した内容を全て放棄して最初からやり直す手順について説明します。最初からやり直すためには、CONGOにコンソールターミナルを接続し、CONGOにダウンロードされてしまった設定を削除しなければなりません (コンソールターミナルの詳細については、別冊子「取り扱い説明書」の「3.4 コンソールターミナルの接続」をご覧ください)。

4.1 コンソールターミナルの接続

コンソールターミナルとして、「Windows95のハイパーターミナル (通信ソフトウェア)」が使用できます。ハイパーターミナルは、下記のように設定します。

表 4a コンソールターミナルの設定

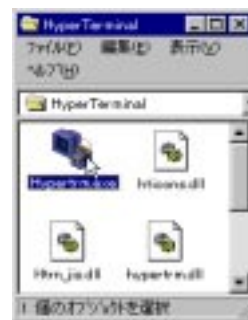
項目	値
インターフェース速度	9600bps
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	ソフトウェア (XON/XOFF)

- (1) 図 2a にないコンソールケーブルの DIN コネクタを CONGO の CONSOLE ポートに接続してください。
- (2) コンソールターミナルとして、AT 互換機をご使用になる場合は、コンソールケーブルと 25P-9P 変換コネクタを組み合わせでご使用ください。

PC-98をご使用になる場合は、コンソールケーブルを直接PC-98に接続してください。

- (3) Windows95 を起動し、ハイパーターミナルのアイコンをダブルクリックしてください。

☒ 4.1a



- (4) 「接続の設定」ダイアログで適当なアイコンを選択し、名前として例えば、「CONGO96」を入力して、「OK」ボタンをクリックします。

図 4.1b



- (5) 「電話番号」ダイアログで「接続方法」として「Com1へダイレクト」^{†1}を選択し、「OK」ボタンをクリックします。「電話番号」の欄には何も入力しません。

図 4.1c



†1 ここでは、CONGO がパソコンの COM1ポートに接続されていると仮定しています。他のポートに接続されている場合は、接続されているポートを指定してください。

- (6) 「COM1のプロパティ」では次のように設定します。「ビット/秒」は「9600」、「データビット」は「8」、「パリティ」は「なし」、「ストップビット」は「1」、「フロー制御」は「Xon/Xoff」。

図 4.1d



- (7) すでに、CONGOに電源が投入されていれば、リターンキーを押すことによって、ハイパーターミナルにプロンプトが表示されます。

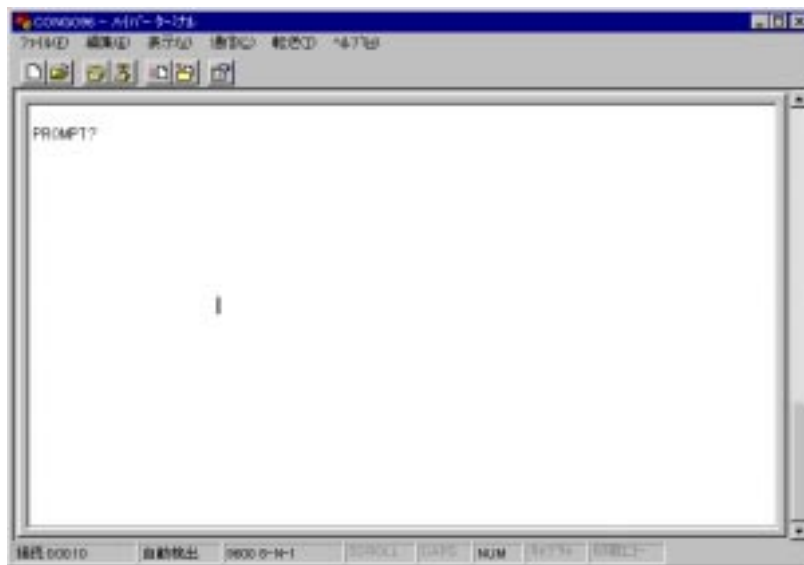


図 4.1e コンソールターミナル

4.2 CONGO を完全な工場出荷時の状態に戻す

- (1) ハイパーターミナルを実行させておきます。
- (2) キーボードのリターンキーを押しながら、CONGO の電源をオンにしてください。これにより、CONGOのモニターモードに入ります。モニターモードでは、下記のようなプロンプトが表示されます（「x.y」の部分には、ROM モニタのバージョンが表示されます）。

```
Mon x.y >
```

- (3) プロンプトに対して、「DE」を入力し、リターンキーを押してください。

```
Mon x.y > DE  
Defaulting PEROM SPF  
CONFIG.SCR deleted. System will startup with factory settings
```

- (4) CONGOの電源をオフ (O) にし、数秒待ってから、再び電源をオン (I) にしてください。
- (5) 自己診断テストが実行され、その結果が表示されます。自己診断テストは、約1分かかります。

```
RAM test from 0x1100 to 0x30000 ... PASSED

Serial Number:   03015
MAC Address:     08:00:03:77:0B:C7

.....
.....
.....

PROMPT?
```

- (6) CONGOに内蔵された設定ユーティリティである ExpressACcess が起動します。

```
***** Welcome to Express Access for the ISDN Telecommuter *****

.....
.....
.....

Press RETURN to continue.
```

- (7) ESC キーを押してください。下記のメッセージが表示されます。

```
Press ESC again to exit or RETURN to continue.
```

- (8) 再度 ESC を押してください。CONGO のコマンドプロンプトが表示されます。

```
PROMPT?
```

4.3 Web Wizard の再実行

再度「3.2 Web Wizardを使う」から実行してください。コンソールターミナルを接続した状態で、Web Wizard を実行すると、ダウンロードの状態がコンソールターミナルに表示されます。



ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品に付属している各日本語ドキュメント類およびWeb Wizard の日本語部分は、アライドテレシス(株)が作成し、著作権を所有しています。

©1996-97 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM、CentreNET はアライドテレシス株式会社の登録商標です。

ACC は、米国 Advanced Computer Communications の登録商標です。

CONGO、ExpressACCess、Web Wizard は、米国 Advanced Computer Communications の商標です。

PC/TCP は、米国 FTP Software, Inc. の登録商標です。

LZS と Stacker はそれぞれ、Stac Electronics の商標と登録商標です。

NetWare は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。

Sun は、米国 Sun Microsystems, Inc. の登録商標です。

Windows、MS-DOS、Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。



アライドテレシス株式会社

PN J613-M0034-00 Rev.D 970514